

Quarterly
高千穂



高千穂大学 広報誌

110周年特集号

2013/6 Vol.42

高千穂



110th
anniversary
since 1903

特集
高千穂学園
創立
110周年



TAKACHIHO UNIVERSITY

高千穂学園 創立110周年 記念式典・祝賀会

学校法人高千穂学園の創立110周年を祝う記念式典が、5月25日（土）、11時から本学セントラルスクエア・タカチホホールにて挙行されました。学園関係者をはじめ、ご来賓、父母の会役員、同窓生、在学生など多くの皆様にご臨席賜りました。

式典は、経営学部 川名和美教授の司会により、藤井耐理事長の式辞から始まりました。ご来賓の日本私立大学協会会長 大沼淳氏（代理：副会長 福井直敬氏）、高千穂大学父母の会会長 大泉修氏、高千穂学園同窓会会長 金子惇氏より祝辞を頂戴いたしました。その後の祝賀会では、並木雅俊学長より挨拶、杉並区区长 田中良氏に祝辞と乾杯のご発声を頂き、また、旧三高商として現在も運動部での定期戦などで関係の深い、学校法人千葉学園理事長 原田嘉中氏、東京経済大学学長 久木田重和氏からも祝辞を頂戴いたしました。



Quarterly
クォーターリー

高千穂

Vol. 42 | 2013/6

Contents

2

特集

高千穂学園 創立110周年記念式典・祝賀会
110周年を迎えて
高千穂学園の未来
高千穂学園110年の歩み

10

TAKACHIHO Information

平成24年度 卒業式
平成25年度 入学式

12

Introduction of Freshers

走り始めた新入生

14

New Professor Profiles

新任教員紹介

15

New Books&Review

書籍紹介



16

[Experience Reports / Career Support News](#)

就職活動体験記
就職活動を通じて／私が一番嬉しかったとき
平成25年度 就職活動支援行事／
就職活動中の皆さんを対象とした支援行事

18

[TAKACHIHO Data Eye / Extracurricular Lectures](#)

平成25年度 入試結果報告
平成25年度 課外講座情報

20

[TAKACHIHO Alumni / Parent's Association](#)

同窓会
父母の会

22

[Campus News](#)

キャンパスニュース

23

[By Air Mail](#)

海外留学報告レポート
編集後記

高千穂大学ソーシャルメディア 公式アカウント

facebook

<https://www.facebook.com/takachihouniversity>



[@takachihouniv](https://twitter.com/takachihouniv)



110周年を迎えて

本学は、明治36年(1903年)、高知県出身の川田鐵彌先生により開校されました。

川田先生は、当時の東京帝国大学漢文科を御卒業され、陸軍幼年学校の教師となれましたが、30歳の若さにて高千穂学園高千穂小学校を開校。その後、明治40年(1907年)高千穂幼稚園、明治42年(1909年)高千穂中学校、そして、大正3年(1914年)現在の高千穂大学の前身である高千穂高等商業学校を開校されたのです。

川田先生の教育理念は、①祖先の祭

礼の重視と忠孝 ②勤労と体育の重視

③自治の精神と品性の修業 ④信義の重視 ⑤言行の慎みと敬意の尊重

⑥(年)長者への敬意と幼者の導き、そして ⑦志操を固くし、事の正確さを守るべきことーにみられるように学問研究を通じて人間性豊かな若者・青年を育成することでした。

この川田先生の教育理念を表現したものが『学風の指針』である「常に半歩先立つ進歩性」および『学風の目標』である「気概ある常識人」・「偏らない自由人」・「平和的国際人」です。『学風の指

針』である「常に半歩先立つ進歩性」とは「継続的努力」および、「努力の継続性を実現した者にのみ醸成される現象を科学的に分析する能力および将来を客観的に予見する能力」を意味します。

また、『学風の目標』である「気概ある常識人」とは、精神性の強さを示し、「偏らない自由人」とは、人間行動・社会現象を分析するにあたり、思想中庸にして常に客観的・科学的視点に立脚した考察を重視することを表しています。

そして「平和的国際人」とは、自らを、



学長
並木 雅俊

本学のキャンパスは、東京都のほぼ中央に位置する杉並区大宮にあり、緑多く閑静な住宅地のなか、学舎として恵まれた環境にあります。

学風の指針は、創立者である川田鐵彌先生の教育哲学を表現した「常に半歩先立つ進歩性」です。どのような状況下においてもあきらめることなく、たとえゆっくりとでも前に向かって進もうとするチャレンジ精神を培ってもらうことに、その真髓があります。常に進歩していくためには、的確な状況判断のもと、今やるべきことにベストを

本年5月学園創立110周年の節目の年に入学された皆さん、誠におめでとうございます。

入学と同時に新入生が、有意義な学園生活を送っていただくための環境づくりを目的にガイダンスが実施されます。

そして、全員がゼミIに参加し、担当の先生を中心に新しい仲間・友人との交流の機会を広げると同時に、『学び』の目標を認識できるプログラムが設けられています。

さて、同窓会は現在会員数約3万人で構成されており、多種・多様な業種に携

わり、全国各地で活躍しております。北海道から九州宮崎県まで26支部の高千穂会を組織し、各地区では同窓会本部や学園からも関係者が出席、先輩・後輩が一堂に会して、同窓生相互の絆を深めるとともに、地域にお住まいの父母会の方にもご案内を差し上げ、情報の共有に役立てています。

ところで、時の経過は想像以上に早いものです。1・2年のうちは学業に打込むと同時に、実社会で役立つ資格取得など、具体的な目標を定め実践することが肝要です。

同総会では学園と協調して、在学生に対する幅広い支援事業を実施しています。

毎年恒例の「体育祭」「高千穂祭」「ゼミナール発表会」などに協賛しています。

「硬式野球部」「アメリカンフットボール部」をはじめ、シーズンで活躍したクラブに対して奨励金を贈呈し、応援しています。

一方、大学奨学金規程に基づき、学業成績優秀な学生を対象に、同窓会からも奨学金を授与しています。

これらの支援事業に加え、今年あらたに社会に出て役立つ資格取得を目的に、

110周年を迎えて理事長、学長、同窓会会長から脈々と引き継がれている高千穂大学の建学の精神、学風の指針、学園文化、教育体制などについて伺いました。

または自らの家族・組織・国家を大切に思うと同様に、他者や他国家を敬愛する心を育むことを意味しているのです。ひと言で表現するならば「気概」・「中庸」・「配慮」と呼ぶことができるでしょう。

本学はこれらを教育理念とし「家族主義的教育共同体」としての文化のもと、学生たちの知的・人格的資質を醸成する教育機関として歩み続け、本年学園創立110周年を迎えたのです。

※本文は2013年6月10日発行「大学新聞」に掲載されたものです。



理事長
藤井 耐

つくす力が必要です。このことが、混乱を極め、先行きの不透明な現在、最も求められている生き方ではないでしょうか。

本学では、この学風の指針を具体的なかたちとするための第一歩として、初年次生に少人数クラス(10～12人)の「ゼミⅠ」を必修としています。この授業では、大学生としての基礎的なスキルを学ぶわけです。「ゼミⅠ」の後半に、口頭発表会が設けられています。発表テーマの決定・調査・発表準備の経験から、自らの学び・対話・議論な

どの共同作業の方法を習得し、総じてコミュニケーション能力の向上につながっています。また担当教員は、ゼミ学生一人ひとりをサポートするアドバイザーとしての役割も担っています。「ゼミⅠ」は、2年生の「ゼミⅡ」、3年生の「ゼミⅢ」とそして4年生の「ゼミⅣ」の基礎・基盤で、高千穂ゼミ教育の体系の一つです。これらゼミ活動における知識の習得に加え、そこで得た知識・技術を駆使していずれにも適応することのできる力を身に付け、研究テーマを通じて社会との接続を考えて

もらっています。またゼミ活動は、生涯の知己を得るよい機会ともなっています。

大学とは思考の礎を築く場です。しっかりとした学びは必ず社会に役立ちます。社会人基礎力の醸成を端緒とする就職支援も含め、教員と職員は常に学生の成長を願い、努力を続けています。

学生のみなさんには、伝統と実績のある人間教育の高千穂で学ぶ意欲を高め、大いに成長していただきたく思っております。

課外授業の一環として「日本漢字能力検定2級」の講座受講料を全面的に支援することとし、すでに130人を超える学生が受講に参加することとなりました。1人でも多くの合格者誕生を期待します。

皆さんも体育会系・文化系の部・クラブやゼミ連などに積極的に参加することにより、在学中に心を通わせ合えることができる真の友人に、1人でも多くめぐり逢えることができれば、これに勝る幸せはないと思います。

どうか、有意義な大学生活を送って下さい。



同窓会会長
金子 惇

高千穂学園の未来



竹内 慶司

経営学部 教授

「常に半歩先立つ進歩性」を心に一丸となって着実に前に進んでいきましょう。



鈴木 一成

経営学部 教授

高千穂と言えば、「常に半歩先立つ進歩性」でしょう。この学風の指針に従えば、今後の発展は間違いのないでしょう。

110年を超え、高千穂



作本 真実

高千穂幼稚園 教諭

学園内の組織が、さらに密接に連携できるようになることを望んでいます。



角屋 由華

同窓会常任理事・学園評議員（1984年卒）

家族主義的教育共同体を保ちつつ、半歩先立つ学生を社会に出してほしいです。

学園創立 110 年を機に、多くの皆さんが歴史の重みとその先にある未来について、考え、語り合われたと思います。そんな思いを祝賀会の来場者や学園関係者から一言ずつメッセージをいただきました。



菊地 彩

学友会 広報局長

人間科学部4年（秀明英光高等学校出身）

今よりもさらに明るい高千穂学園に。



中川 僚介

学術文化団体連合会 委員長

人間科学部4年（国見高等学校出身）

更なる歴史と文化の積み重ねを望んでいます。

学園に期待すること



川名 和美

経営学部 教授

起業・事業承継コース主任

もっともっと地域の人たちに愛される学園であってほしいです。



高橋 正健

同窓会 理事（1946年卒）

何ものにも捉われず常に今日的社会的価値を有した輝やかな存在としていてほしい。

高千穂学園110年の歩み

高千穂学園年表

1900年 (明治33年)	校地購入
1902年 (明治35年)	高千穂尋常高等小学校校舎竣工
1903年 (明治36年)	2月 高千穂尋常高等小学校開校
1906年 (明治39年)	学校園設置
1907年 (明治40年)	高千穂中学校校舎竣工
4月1日	高千穂幼稚園設置
1909年 (明治42年)	高千穂中学校開校
1910年 (明治43年)	11月 高千穂高等商業学校校舎竣工
1911年 (明治44年)	渋谷栄一評議員となる
1912年 (大正元年)	創立10周年記念講堂竣工
1913年 (大正2年)	人生幸福の碑建立(創立10周年記念)
1914年 (大正3年)	4月 高千穂高等商業学校開校、一貫教育完成
1916年 (大正5年)	高等商業部文部省認定
1923年 (大正12年)	12月3日 創立20周年記念図書閲覧室竣工
1928年 (昭和3年)	11月17日 川田鐵彌藍綬褒章を拝受
1929年 (昭和4年)	7月 『朝礼訓話集』発行
1933年 (昭和8年)	10月 高千穂神社建立
1936年 (昭和11年)	11月 幼、小、中、高商合同同総会開催
1940年 (昭和15年)	10月 川田鐵彌文部大臣より表彰を受く
12月2日	増築校舎竣工(大久保より移築)
1941年 (昭和16年)	4月1日 高千穂小学校を高千穂初等学校と改称
1943年 (昭和18年)	5月27日 創立40周年記念式開催
1945年 (昭和20年)	5月26日 空襲により大久保校舎全焼 空襲により大宮の職員住宅4棟全焼
1946年 (昭和21年)	4月1日 幼経専門校内にて保育開始 10月30日 中学校校舎建築
1947年 (昭和22年)	4月1日 新制高千穂中学校認可 高校校舎新築
1948年 (昭和23年)	4月1日 新制高千穂高等学校認可
1950年 (昭和25年)	2月20日 高千穂商科大学認可 川田鐵彌高千穂商科大学学長就任
1951年 (昭和26年)	川田鐵彌藍綬褒章飾板拝受 3月2日 財団法人を学校法人に改む
1952年 (昭和27年)	10月 大久保に校舎竣工
1953年 (昭和28年)	大学内に商学会設置
1955年 (昭和30年)	10月13日 商大図書館建築
1957年 (昭和32年)	創立55周年記念式典開催
1959年 (昭和34年)	7月4日 川田鐵彌逝去、青山葬儀場にて校葬
1960年 (昭和35年)	大学図書館建設
1962年 (昭和37年)	9月4日 「高千穂論叢」発行
1964年 (昭和39年)	10月 法人事務所を杉並区大宮町1675番地へ移転 幼稚園舎竣工
1965年 (昭和40年)	大学、高校、幼稚園等学園全校舎総合建設計画を決定



1. 高千穂学園創立者 川田 鐵彌先生
1899年(明治32年3月)東京帝国大学文学部漢文化卒。文部省、幼年学校を経て、学園を創立する。



2. 1903年(明治36年)
高千穂尋常高等小学校を開校
豊多摩郡大久保村字高馬(現在の東京都新宿区新宿七丁目)



3. 1907年(明治40年)
高千穂幼稚園を設置



4. 1909年(明治42年)
高千穂中学校(旧制)を開校



5. 1914年(大正3年)
高千穂高等商業学校(旧制)を豊多摩郡和田堀内村字大宮に開校(国内初の私立の高等商業学校)



6. 1914年(大正3年)
高千穂高等商業学校講堂 晩香閣竣工(創立10周年記念)



7. 1945年(昭和20年)
戦後の大宮キャンパス



8. 1953年(昭和28年)
高千穂商科大学 第1回卒業生

創立者川田鐵彌先生が高千穂尋常高等小学校を開校し、幼稚園、中学校を開校し、私学としては我が国最初の高等商業学校を開校しました。その後、1950年(昭和25年)高千穂商科大学に昇格、そして2001年(平成13年)には高千穂大学に名称を変更しました。高千穂学園の110年の変遷をご覧ください。



9. 1967年(昭和42年)
1号館大学校舎竣工



10. 1973年(昭和48年)
8号館体育館竣工(創立70周年記念)



11. 1984年(昭和59年)
10号館研究室竣工(創立80周年記念)



12. 1995年(平成7年)
2号館図書館・大学院・研究室棟竣工



13. 2003年(平成15年)
6号館セントラルスクエア竣工
(創立100周年記念)



14. 2015年(平成27年)
新1号館竣工予定



15. 2017年(平成29年)
新体育館・7号館竣工予定



16. 2017年(平成29年)
新校舎完成鳥瞰図

1966年 (昭和41年)	学校法人名を高千穂学園と改称
1967年 (昭和42年)	同窓会員10,000余名の名簿発刊
1968年 (昭和43年)	5月 語学研修所設置
	同窓会室設置
	7月31日 大学大教室校舎(3号館)竣工
1970年 (昭和45年)	小池厚之助理事長就任
1971年 (昭和46年)	6月8日 ストアマネジメント研究所発足
	11月 大学語学研修所設置
1972年 (昭和47年)	7月1日 草津研修所竣工
	8月 大学新聞「マンスリー高千穂」発刊
1973年 (昭和48年)	創立70周年記念
1974年 (昭和49年)	教職課程設置委員会結成
	創立者川田鐵彌先生胸像再建
1975年 (昭和50年)	2月18日 クラブハウス建立
	10月28日 奨学生規程制定
1981年 (昭和56年)	2月3日 高千穂学園の学風決定
1983年 (昭和58年)	5月21日 創立80周年記念式典、記念事業開催
	草津研修所を白根セミナーハウスと改称
1984年 (昭和59年)	3月31日 合気道場杉並区有形文化財に指定
	7月19日 ～8月9日 第1回海外研修実施(オレゴン大)
1989年 (平成元年)	9月30日 9号館(クラブハウス)竣工
	12月22日 経営学科設置認可
1993年 (平成5年)	5月21日 90周年記念行事開催
1995年 (平成7年)	2月 2号館竣工
	12月 大学院経営学研究科経営学専攻修士課程の設置認可
	米国ハンボルト大学海外留学提携
1997年 (平成9年)	3月 東呉大学海外留学提携
	中国中央财经大学との共同研究
	12月 大学院経営学研究科博士後期課程の設置認可
1998年 (平成10年)	10月 登戸総合グラウンド取得
2000年 (平成12年)	3月 商学部教員免許課程「商学科:社会コース・中一様社会、高一様地理歴史、公民、商業コース・商業、経営学科:商業コース・高一様商業」の認定
	9月 中国人事部人材科学研究所、中央财经大学と共同研究
	12月 経営学部設置認可、大学名称変更認可
	経営学部教員免許課程「教科・商業」の認定
2001年 (平成13年)	4月 高千穂大学に名称変更、経営学部設置
2002年 (平成14年)	1月～2月 高千穂大宮遺跡発掘調査
	3月 経営学部教員免許課程「情報コース・高一様情報商業コース・高一様商業」の認定
	4月 フレッシュマンオリエンテーションの実施(新入生学外宿泊オリエンテーション)、新入生導入教育の開始
	5月 高千穂学園発祥の地記念碑建立
2003年 (平成15年)	セントラルスクエア(創立100周年記念)竣工
	創立100周年記念式典開催
2007年 (平成19年)	人間科学部設置
2013年 (平成25年)	5月 創立110周年記念式典開催
2015年 (平成27年)	新1号館竣工予定
2017年 (平成29年)	新体育館・7号館竣工予定



平成24年度卒業式

3月20日、晴天の中、平成24年度卒業式が行われ卒業生たちが新たな世界へと旅立ちました。式では成田博学長より商学部、経営学部、人間科学部人間科学専攻、児童教育専攻、大学院経営学研究科修士課程、博士後期課程の代表者それぞれに学位記を授与。その後、教員免許状の授与、学友会活動で功績のあった学生を読み上げ、

代表の学生に功労賞を授与しました。在学を代表して山田明真さん(当時 商学部3年)から送辞。答辞は永倉佑華さん(当時 人間科学部4年=北多摩高校出身)、「困難も一つひとつ乗り越え、広く社会に貢献できるよう努力していきます。学生生活でかかわった全ての方に心より御礼申し上げます。」と読み上げました。

平成25年度入学式

平成25年度入学式は学内の八重桜が満開となっている4月4日に行われ、新入生たちが緊張の面持ちで新しい学生生活を迎えました。式では4月から新任となった並木雅俊学長から商学部、経営学部、人間科学部人間科学専攻、児童教育専攻、大学院経営学研究科修士課程、博士後期課程の代表者それぞれに入学許可証を授与。在学

生代表として綿貫良成さん(商学部4年・学友会会長=高田商業高校出身)が「障害にぶつかった時はぜひ先輩を頼って下さい」と歓迎の辞を述べた。新入生代表の佐藤昂佑さん(商学部1年=東京学館船橋高校出身)が「喜びと期待に満ちあふれた大学生活にしたい」と目を輝かせ、誓いの辞を述べられました。



走・り・始・め・た・新・入・生

ポジティブになる

笹本 里奈 ◆人間科学部／長谷川ゼミ（日野台高校出身）

Q なぜこの目標にしましたか？

A 今までの私はマイナス思考でした。なんとなく「毎日楽しくないなあ〜」と思うことが多かったので、大学への入学を機にその考えを変えて、ハッピーにしたいと思いました。

Q 大学に入学してから早速ポジティブになれたエピソードはありますか？

A アメリカンフットボール部に勧誘をされて入部しました。出会って間もない人たちとうまくやっていけるのか不安でしたが、先輩や同期のみんなと、仲良く楽しくしていくことだけを考え、ポジティブ思考にチェンジすることができました。



Q 部活動はいかがですか？

A 忙しいですが、とても楽しいです。
プレーヤーを元気にできるマネージャーになりたいです。



Q なぜこの目標にしましたか？

A 今までの人生で自分のやりたいことを、親はたくさんサポートしてくれました。実家は父が会社を経営していますので、

父を超える

渡邊 結介 ◆経営学部／川名ゼミ（熱海高校出身）

経営学部起業・事業承継コースでしっかり学んで、父への恩返しとして、将来、会社を少しでも大きくさせたいという意味で、この目標にしました。

Q 目標に向けて動き始めたことはありますか？

A 特にパソコン、インターネットを利用して会社へ貢献をしたので、そのあたりの勉強を始めていきたいです。

Q 自分や周りに変化はありましたか？

A この目標のことに父に話をしてみたところとても喜んでくれました。その反応を見て、より大きな恩返しをしたと思うようになりました。

イベント運営のスペシャリストになる

島田 恵 ◆経営学部／河合ゼミ（横浜女学院高校出身）

Q なぜこの目標にしましたか？

A アメリカンフットボールの社会人チームでボランティアスタッフをしており、そこから試合やイベントのマネジメントに興味を持ち始めました。

Q 目標に向けて動き始めたことはありますか？

A 以前からやってみたかったマネージャーとしてアメリカンフットボール部に入部しました。チームを応援してくれる人を増やすために色々頑張りたいです。

Q 自分や周りに変化はありましたか？

A 私の出身校は中高一貫校だったので、新しい環境に身を



置くこと自体が新鮮で、アメフト部などの出会いは視野を広げてくれました。特に河合先生のゼミはとても勉強になります。これらも将来につなげていきたいです。

高千穂大学Facebookページで現在進行中の企画「【新入生に聞きました】大学生活での目標」の中で特に気になる目標を取り上げてみました。そこには目標に向けてすでに「走り始めた」新入生たちの姿がありました。

ずっと笑顔

工藤 恭彦 ◆経営学部／笹金ゼミ（正則高校出身）

Q なぜこの目標にしましたか？

A 大学生は大学の勉強はもちろん資格の勉強など今までの学校生活より、一層大変なことが増えると思います。その中でも常に笑顔でいられることは自分を成長させ、周りも笑顔になってくれると思ったからです。

Q 目標を達成するためにしていることはありますか？

A 課題がなかなか終わらなくて焦っているときや、部活の練習がづらい時など、どんな状況でも常に前向きに考えて、辛いことも楽しく考えるようにしています。



Q 何か自分や周りに変化はありましたか？

A 自分が笑顔でいることで友達や周りの人も笑顔になってくれて、空気が明るくなる気がします。



Q なぜこの目標にしましたか？

A 高校生の時は友達もたくさんいて、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。大学でも同じようにたくさん

友だちをたくさん作る

原嶋 彩 ◆人間科学部／小向ゼミ（府中東高校出身）

の友達とたくさん楽しい時間を過ごしたいので目標に書きました。

Q 大学に入ってもだちはたくさんできましたか？

A はい。ゼミのメンバーとも、とても仲良くなることができました。でもまだそんなにたくさんというほどではありません(笑)。

Q 今後はどんな友だち作りをしていきますか？

A 私は人見知りをするタイプなのでそこから変えていきたいです。積極的に自分から声をかけたりして仲のいい友達を増やせていけたらいいと思います！

徳田ゼミを1番最高のゼミにするぜ！

森田 和樹 ◆人間科学部／徳田ゼミ（大師高校出身）

Q なぜこの目標にしましたか？

A みんな小学校教員を目指して入学してきたので、目的が同じということもありすぐに仲良くなれました。いつも一緒にいて笑顔になれるし、居心地がよくて、信頼のできる友達でできたと思います。

Q 目標を達成するためにしていることはありますか？

A 「みんな」で企画し、「みんな」で実行することを心がけるようにしています。夏休みは白根セミナーハウスでのゼミ合宿とボウリング大会をやりたいです。

Q 自分や周りに変化はありましたか？

A 一人ひとりの人間性や趣味を知り、その中から影響を受けたことが多いです。例えば、「たくさん本を読む」「時間を



有効に使う」「図書館で勉強する」など意識の高い仲間からいい影響を受けました。

生きること、それは考えること

人間科学部 教授

齋藤 元紀

今年度着任しました齋藤元紀です。哲学・倫理学が専門です。哲学や倫理学と言うと、現実離れた難解な学問、建前をふりかざすお説教などといった印象を抱くかもしれません。しかし哲学・倫理学とは本来、私たちの生をまろごとその根底から考え抜く作業です。生あるかぎり手放せない思考の営み、それが哲学であり、倫理学なのです。

ところがそのためには、逆説的ながら、生とは正反対の「死」という立場からものを考



えなければならない——いわばメント・モリ（死を想え）——と説いたのが、20世紀のドイツの哲学者ハイデガーでした。私は学生時代にこの彼の思想に強い共感を覚えて研究の道に入り、昨年その研究成果を『存在の解釈学——ハイデガー『存在と時間』の構造・転回・反復』（法政大学出版局）として上梓しました。また現在、全国規模の研究団体「ハイデガー・フォーラム」の実行委員や、関東の研究者を中心とする「ハイデガー研究会」の代表を務め、3.11以降注目の高まる彼独自の思想の意義を問う『科学と技術への問い——ハイデガー研究会第三論集』（理想社）も刊行しました。

哲学・倫理学は私たちの生、そして



全学問の基礎をなすものです。これらの研究成果を、本学での教育・研究活動のみならず、学園全体の発展のために活かしていきたいと思っています。

新任教員からのごあいさつ

今年度より新たに2名の新任教員をお迎えすることとなりました。

有意義な大学生活を過ごして下さい

人間科学部 助教

竹内 淨

今年度着任しました竹内淨です。担当講義は、「環境科学」、「数学」、「算数（教職）」です。自分が大学生だった頃を振り返ってみますと、皆さんと同じように（?）、勉強以外では、アルバイトばかりしていました。長く続けたものは、塾講師、企業の受付、アイスクリーム屋の店員です。その他には日雇いとして、工事現場のガードマン、交通量調査員、スキー場の清掃員などです。お給金をいただくことがもちろん目的でしたが、今では、単なる労働ではなく、とても良い経験だったように思います。塾講師では人前で話すことに慣れまし



たし、企業の受付ではサラリーマンの厳しさを生で見ることができました。販売店員では、他のアルバイトさんに指示を出すときに、人をお願いすることを学びました。今でも決して社交的とは言えない性格ですが、人の集まり（社会集団）では、立場や考えが違う人を尊重して接することの大切さは理解しているつもりです。皆さんも、勉強はもちろんですが（学生の本分!）、サークル、アルバイト、旅先などで自分の知らない世界を見て、多くの人とお話してみして下さい。きっと、良い経験になると思います。そして、良い思い出になります。最後になりますが、講義やゼミの中で、皆さんと一緒に勉強できればと思っています。よろしくお願いします。



今、学生に読んでほしい本！



染谷 昌義 准教授(人間科学部)より紹介 『家出のすすめ - 現代青春論』

寺山 修司 著 [角川書店・500円] (1983年 発売)

テラヤマ・ワールドのすすめ

寺山修司をご存知？ 今年に没後30年。彼の映画も演劇も俳句も短歌も詩もエッセイも音楽も写真も競馬も盛り上がる。で、どんな人なの？ A列車の汽笛ポーポーと競争して劇団天井桟敷を設立、デニム張り厚さ10センチのサンダルボックリ履きに脚本と演出、馬敗れて草原ありの望郷地方競馬通いは「ふりむくな ふりむくな 後ろには夢はない」の「さらばハイセイコー」、阿佐ヶ谷での即興市街劇ノックノックコンコンチキから「マッチするつかのま海に霧深し身捨つるほどの祖国はありや」まで、風吹くばかりの恐山に真っ赤な櫛を捨てに行き「かくれんぼ鬼のままにて老いたれば誰をさがしにくる村祭り」ひとりぼっち。アフォリズムと家族合わせを楽しんで最後に撮ったのが貞操帯との格闘映画「さらば箱舟」百年の孤独よ。娯楽の言葉と想像力のおまじないに酔いたいなら、右手に22歳の作品集『われに五月を』左手に『家出のすすめ』、ほのかなリンゴ味の割きイカおつまみ『家出のすすめ』を鞆に入れて、ザムザ阿佐ヶ谷や下北沢がスズナリに行こう。そして寺山の言葉にピンときたら吉祥寺ハモニカ横町で一杯やろう。どんな鳥も想像力より高く飛べないから。



左は染谷先生紹介の「家出のすすめ」、
右は紹介文内に登場する「家出のすすめ」

舟木 てるみ 准教授(経営学部)より紹介 『アメリカ型成功者の物語』

— ゴールドラッシュとシリコンバレー —

野口 悠紀雄 著

[新潮文庫・660円] (2009年 初版)



(写真:紀伊國屋書店BookWeb)



本書は、19世紀半ばのカリフォルニアにおけるゴールドラッシュにまつわる逸話と現代のシリコンバレーで成功した起業家たちに焦点をあてている。ゴールドラッシュで巨万の富を得たのは、一攫千金を夢見て金を掘りにきた山師や開拓者たちではなかった。リーバイスの創業者リーバイ・ストラウス、スタンフォード大学の設立者リーランド・スタンフォードをはじめとする人々は、金を採取するのではなく、金を採取するために必要なズボン、シャベル、送金サービス等の道具やサービスを提供するという発想の転換で成功を収めた。彼ら成功者たちの発想の転換は、現代のIT革命で成功したGoogleなどの企業にも共通していると筆者は述べる。2009年出版なので、IT関連の話にいささか古めかしさを感じるが、150年前のゴールドラッシュ時のカリフォルニアの様子と、19世紀と現代の「アメリカ型成功者」の肩のこらない物語を楽しむことができる。

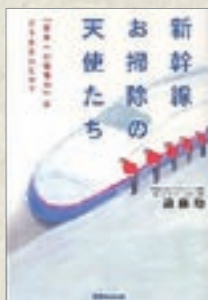
図書館員が選んだこの2冊

『ローカル線で行こう！』

真保 裕一 著

[講談社・1,575円(税込)] (2013年2月 発売) ISBN:9784062182171

県下最大のお荷物といわれる赤字ローカル線、もりはら鉄道は、廃線の瀬戸際に立たされていた。再生を図るため、前社長が白羽の矢を立てたのは…なんと新幹線のカリスマ・アテンダント。篠宮亜佐美。31歳、独身。「この鉄道の経営は、素人以下です」「お金がないなら、智慧を出すのよ！ 県庁から送り込まれた鶴沢哲夫以下、もり鉄社員は戸惑うばかり。しかし、亜佐美は社長に就任するや、規格外のアイデアを連発し、鉄道と沿線の町はにわかに活気づいていく。一方、時を同じくして、列車妨害、駅の放火、台風による崖崩れと、数々の事件が亜佐美たちを襲う。そんな中、社員すべての希望をかけた「もり鉄フェスティバル」の日がやってくるが…。赤字鉄道の再生は？ 寂れた沿線の町おこしは？ そして、不穏な事件の真相は？ もり鉄に明日はあるのか？



『新幹線お掃除の天使たち—「世界一の現場力」はどう生まれたか？』

遠藤 功 著

[あさ出版・1,470円(税込)] (2012年8月 発売) ISBN:9784860635473

テッセイの『新幹線劇場』。テッセイはJR東日本の子会社で、そこで働く820人の人たちの主な仕事は新幹線や新幹線駅構内の清掃です。下請けの、おじさんやおばさんばかりの、お掃除の会社。ちょっと素敵なことなど起こりそうもない会社で、私は数多くの胸を打つエピソードに接し、「世界一」と言っているほどの現場力を目にするようになりました。プロの仕事ぶりには目を見張りますし、礼に始まり礼に終わる姿勢には大変にすがすがしいものを感じます。決して「特別な会社」ではないけれど、「きらきら輝くふつうの会社」、それがテッセイなのだと思います。

(引用:紀伊國屋書店BookWeb)

就職活動を通じて

経営学部 4 年（昭和第一高等学校出身）
渡邊 恵斗

はじめに、私にとって就活は多くの方に出会い支えてもらい、改めて自分の今までの人生そして未来を本気で考えることのできる期間でした。この期間を楽しんで有意義に過ごせたのは、就活だけでなく遊びにもアルバイトにも全力で取り組み、けじめをつけて「やる時はしっかりやる」と決めていたからだと思います。

私は4月に第一志望である企業から内定を頂きました。私の就職活動というのは12月の合同説明会からスタートしましたが、正直1月半ばまでは自分のやりたいことや夢、業界もぼんやりしていました。エントリー数も20社程度で、周りのエントリー数を聞いて焦ったりもしましたが、私は「多くの企業を受け、数撃てば当たる」よりも「自分はどんな人になりたいか」「どんな環境で仕事したいか」を明確にし、就活における「軸」を明確にすることに力を入れ、



その軸をたどることによって行きたい業界を早い段階で見つけることができました。例えば説明会に参加して自分が思い描く企業ではなかった場合には、アンケート用紙に「今後選考には参加しない」ときっぱり書き、次へ次へと気持ちを切り替え自分の行きたい企業の選考にはしっかりと対策をして臨みました。面接練習などは大切だと思うし経験も必要ですが、考えた答えを暗記するよりはキーワードを覚え自分の言葉や気持ちをしっかり伝え笑顔で楽しく面接に挑むことが大切なのではないかと思います。

また、もちろんゼミの教授や就職支援課の方々の協力も必要不可欠ですが、同じ業界を志望する友人を多く作り情報交換をたくさんすることが何よりも大切だと感じました。

最後に、「内定」はゴールではありません。私もこれからは入社に向けて新たな目標を設定し今後も努力し続けたいと思います。



私が一番嬉しかったとき

商学部 4 年（富士見高等学校出身）
朝原 知子



12月以前まで恥ずかしながら私は、あまり就職活動の準備をしていませんでした。12月になるとスーツ姿の学生を多く見かけるようになり、自分は他の学生より出遅れているという危機感を感じました。そのため、とにかくがむしゃらになって毎週3～5回は説明会やセミナーに積極的に参加し、様々な業界の実態を学ぶと同時に就職活動が始まったのだと気持ちを引き締めました。

2月上旬、就職活動を始めて、最初に受けた企業から内定を頂きました。思っていた以上に早々と内定を取得したので、気持ちに余裕ができ、その後の他社の選考には身構えることなく、自信を持ってありのままの自分で臨みました。

しかし、多くの企業を受けたところ、それまでとは一変し1次選考すら全く進まなくなりました。3月になっても現状は変わらず、月日が経つに連れて持ち駒が減り、それと比例して自信を無くしていき、毎日先の見えない将来に漠然とした不安が続きました。今振り返ると、この時期が就職活動の中で一番辛かったです。

そんな中、唯一選考に進んだのが第一志望の信用金庫でした。「もう、こども駄目かもしれない…」とマイナスな気持ちで選考に臨むのではなく、西武信用金庫に対する熱意やありのままの自分を伝え選考に臨んだ結果、内定を頂くことが出来ました。

内定を取得したことをお世話になった先生方や友人達に伝えた時、一緒に喜んでくれました。その時私は、第一志望の信用金庫から内定を取得したことよりも、どんな状況下でも応援してくれる人が周囲にたくさんいるということを改めて感じられたことが、何よりも嬉しかったです。最後に、家族やいつも相談相手になってくださった皆様には大変感謝しております。本当にありがとうございました。



平成25年度 就職活動支援行事【3年生対象】

高千穂大学では、なによりも学生一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしており、学生の状況をしっかりと把握する就職支援活動を行なっております。

また、企業様からのご要望に柔軟に対応できる、適切な就職支援の実現が可能となっております。今年度も4月から3年生を対象とした就職支援行事が始まりました。

企業の採用活動は12月から本格的に始まりますが、その準備を着実に進めることが大切です。そこで春学期は職業や職

務理解を深めるための行事を実施いたします。

特に6月からの「仕事研究セミナー」は様々な業種で活躍している卒業生から話を聞き、就職してもミスマッチが生じないよう多くの業種の働き方を学ぶ場を提供しております。

また、就職活動に有益な講座として秘書検定講座やSPI基礎講座を開講しています。夏休みには公務員採用試験対策講座も開講予定です。

実施日程		行 事	1・2年生 参加可能	ポイント
6/11	火	10:40～12:10 仕事研究（応用編）第1回セミナー	★	
		13:00～14:30 職業レディネスフィードバックセッション ※受検者のみ	★	自己分析から適職を考える
6/25	火	10:40～12:10 仕事研究（応用編）第2回セミナー	★	
7/2	火	10:40～12:10 仕事研究（応用編）第3回セミナー	★	OB・OG・人事担当者から「どんな働き方があるのか」を聞く ※6/11から各回3～4業種開催予定
7/16	火	10:40～12:10 仕事研究（応用編）第4回セミナー	★	
9/24	火	10:40～12:10 秋の就活ガイダンス		就活の流れを再確認
		13:00～14:30 SPI 模擬テスト		筆記試験の実力確認
10/1	火	10:40～12:10 自己分析・自己PR 講座		自分の強みを考える
10/8	火	10:40～12:10 エントリーシート・履歴書講座		自分の強みを表現する
10/15	火	10:40～12:10 就職活動体験報告会	★	就活の実情を先輩から聞く
11/11 と 11/15	月 と 金	11:30～16:30 秋の進路相談会		進路相談とアドバイス
11/11	月	16:20～17:50 留学生ガイダンス ※留学生対象	★	専門アドバイザーによる就活の手引き
11/12	火	10:00～11:30 就活メイク講座 ※女子学生対象		メイクのプロが「見せ方」を実践します
		13:00～14:30		
11/18	月	16:20～17:50 男子学生／女子学生の働き方と就活準備セミナー		「働き方・就活実情」を男女別で学ぶ
11/19	火	10:40～12:10 マナー・面接対策講座		面接試験におけるマナーの習得
		13:00～14:30 グループ体験講座	★	体験学習
11/25	月	16:20～17:50 学内選抜インターンシップ報告会	★	実習報告
11/26	火	10:40～12:10 採用試験面接対策講座（基礎編）		選考ポイントの確認
		13:00～14:30 採用試験面接対策講座（応用編）		体験学習
12/2	月	16:20～17:50 就職活動マナー講座		就活マナーの再確認
12/3	火	10:40～12:10 就活実践講座		就活サイトを有効活用するには
		13:00～17:00 U・Iターン就職相談会 ※希望者のみ	★	各県就職支援担当者との相談会
12/10	火	13:00～16:30 第1回学内合同企業説明会		
1/14	火	13:00～16:30 第2回学内合同企業説明会		企業との出会い
2/10	月	13:00～16:30 第3回学内合同企業説明会		

※開催日程は都合により変更となる場合がございます。事前に求人 NAVI、学内掲示にてご確認ください。

就職活動中の皆さんを対象とした支援行事

就職活動中や、これから活動を開始する皆さんへの支援として学内説明会やリカバリー講座を開催いたします。これから採用活動を開始する企業も多く、学内求人だけでも5,000件以

上(5月30日現在)届いており、求人NAVIで公開しております。また、毎週木曜日には東京新卒応援ハローワークの相談員が常駐し、就職に関する相談や面接練習を行なっております。

実施日程		行 事	ポイント
6/4	火	10:40～12:10 第1回 就活リカバリー講座	就活の振り返り
		13:00～16:30 学内個別企業説明会【合同開催】	積極採用企業との出会い
7/9	火	10:40～12:10 第2回 就活リカバリー講座	夏休みまでに内定を得る
		13:00～16:30 学内個別企業説明会【合同開催】	積極採用企業との出会い

※開催日程は都合により変更となる場合がございます。事前に求人 NAVI、学内掲示にてご確認ください。

■東京新卒応援ハローワーク相談員来校日(春学期分)

6月6日(木)～7月25日(木) 毎週木曜日 11:00～17:00 事前予約制(就職支援課へご連絡ください)

平成25年度 入試 結果報告

最近では景気回復など、いくぶん明るい兆しがみえてきたとはいえ、平成25年度の入試環境は、国公立志向、理系志向、地元志向が鮮明な厳しい環境ではありましたが、平成25年度入試に向けた平成24年の入試広報活動は、面倒見の良い本学の教育姿勢を広く知っていただくため、3月を皮切りに6月、7月(2回)、8月、9月、10月、12月の計8回のオープンキャンパス、高校訪問、出張講義、学校説明会、相談会などを、1年を通じて行ってまいりました。オープンキャンパスの参加者数は、8月と12月が大幅に増え、その他は微減で、全体としては、ほぼ昨年度並みとなりました。

入試は、昨年度と同様の入試制度にて実施しました。目的意識を持った学生を一人でも多く受け入れるため、指定校推薦入試は11月に1回、公募制推薦入試は11月から3月にかけて5回、AO入試は8月から3月にかけて8回、留学生入試2回、一般入試は、1月から3月にかけて、英語・国語入試で前期・後期2回、ベスト2教科入試で前期・後期2回、センター入試は、1月から3月にかけて5回と、多様な入試区分で入試を実施しました。

入試の結果は、表「平成25年度入試結果」のとおりです。昨年度と比べて、推薦入試の志願者数は増加、AO入試、留学生入試および一般入試の志願者は横ばい、センター入試の志願者数は減少で、全体としてはほぼ横ばいという結果でした。志願者数は大きな増減はありませんでしたが、入学してきた学生の評判はすこぶるよく、4月に実施したオリエンテーションでは欠席者が皆無という結果で、本学の教育に共鳴した良好な学生の受け入れができたものと考えております。これには、昨年度に引き続き実施した入学前教育の効果もあらわれたものと考えております。具体的には、早期合格者に対する国語問題、学部別課題文(専任教員による添削あり)、入学者全員に対し自己を見つめなおす入学前作文の3回とし、早期合格者を含め全新生が入学までモチベーションと基礎学力を維持できるよう努めました。こうした取り組みは来年度も実施

する予定です。

しかし、良好な学生の受け入れはできたものの、数的な目標達成も重要です。平成25年度入試では、この点がクリアされておらず、平成26年度入試の課題となっています。本学の先生に近く、面倒見が良いという教育姿勢がまだまだ十分に認知されていない点を反省しなければなりません。平成26年度入試に向けた入試広報活動といたしましては、オープンキャンパスのコンテンツ強化、高校訪問の拡充、相談会・出張講義への積極的参加などを通じて、本学の教育を広く認知していただくべく活動を行っていく予定であります。

また、平成26年度入試では、入試制度の改訂を行いました。まず、AO入試では、全国商業高等学校協会などの指定資格保有を応募条件に定めた「商業高校・専門学校型」という区分を、漢字検定、数学検定、英語検定など普通科高校でも取得が推奨されている資格保有を条件に加え、「資格取得型」と名称変更いたしました。従来の商業高校・専門学校の高校生はもちろん、普通科の高校生も応募可能となります。次に、本学の一般入試は、全学部共通の問題で入試を行っており、この現状に合わせて名称を「全学統一入試」と変更しました。この名称変更により、1回の試験で第2志望の学部・専攻を併願できることがわかりやすくなったかと思います。さらに、名称を変更するだけでなく、英語・国語入試(前期)とベスト2教科入試(前期)は、特別選抜入試を兼ね、得点率80%以上の合格者上位5名ずつ合計10名を特別奨学生と認定し、1年次の授業料(68万円)を全額免除する制度を創設いたしました。優秀な学生のみさんの受け入れにつながればと期待しています。

平成26年度入試に向けた入試広報活動は、3月のオープンキャンパス、高校での相談会など、すでにスタートがきられておりますが、有為な高校生の受け入れに向け学生募集に取り組んでまいります。

平成 25 年度入試結果

入 試 形 態	商学部		経営学部		人間科学専攻		児童教育専攻		合計	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
A O 入 試	82	60	103	62	21	12	2	2	208	136
推 薦 入 試	89	87	77	69	14	13	5	5	185	174
留 学 生 入 試	9	7	6	5	1	0	—	—	16	12
一 般 入 試	332	89	373	211	228	45	127	40	1,060	385
センター方式	268	109	305	158	81	56	73	35	727	358
合 計	780	352	864	505	345	126	207	82	2,196	1,065

※児童教育専攻のセンター方式利用入試はセンター方式Ⅰ期のみ。

平成25年度

課外講座 情報

資格取得の動機は一人ひとり違うものです。目指す進路や興味などによっても取るべき資格の種類は変わってきます。しかし、どの資格であっても持っていて損になることはありません。高千穂大学の課外講座では、皆さんのキャリア形成やスキルアップに役立つ講座を揃えました。あなたはどの資格を目指しますか？

●メリット①

大学が受講料を補助しているのでどの講座も一般の専門学校より安い。

●メリット②

学内で受講できるので通学時間等のロスがありません。

平成 25 年度 課外講座一覧

分野	講座名	担当講師	受講料
基礎	日本漢字能力検定2級対策	由井 恭子 講師／鈴木 治子 講師	同窓会支援講座につき 無料 (要受験料:3,500円)
会計	日商簿記3級(6月受験)	資格の大原 佐藤 輝明 講師	5,000円 再受講:14,000円
	日商簿記2級(11月受験)	資格の大原 佐藤 輝明 講師／志賀 善隆 講師	40,000円
ビジネス	社会保険労務士入門	特定社会保険労務士 角田 大祐 講師	2,000円
	販売士2級	販売士TORERUアカデミー 内山 彰弘 講師	20,000円 再受講:6,000円
	ビジネス実務法務3級	資格の大原 大森 太一 講師	28,000円
教育	保育士	ヒューマンアカデミー 今井 由恵 講師	26,000円
		長谷川 万希子 本学教授／岡田 有司 本学准教授	再受講:13,000円
情報語学	マイクロソフト オフィススペシャリスト(MOS)	資格の学校 TAC 関 美雪 講師	26,000円
	TOEIC基本	穂積 由利子 講師	30,000円

講座 Topix

日本漢字能力検定 2級対策講座：同窓会支援により受講料が無料になりました。

130人以上が2級を受講しています。

日商簿記 3級講座：初心者でも無理なく学んでもらうため、受講料を5,000円に設定しました。

MOS 講座：Word と Excel の資格取得を目指す講座で、レポート作成や就活に役立ちます。

公的資格取得支援奨学金制度について

税理士、日商簿記1級、そして販売士1級等、より上位の資格を目指して専門学校の講座を受講する場合に大学が受講料の半額程度(上限10万円)を補助する制度です。詳しくは「2013年度版課外講座ガイドブック」または教育研究事務課まで。

課外講座サクセスストーリー 合格者のコメント

講座受講をし、見事試験に合格をした学生に「合格するためには何が必要か?」を聞きました。

日本商工会議所
簿記2級 合格

矢崎 匡基

経営学部2年
(飛鳥高等学校出身)



私は普通科高校出身なので大学に入学するまで簿記を勉強したことはありませんでしたが、大学では簿記を学ぼうと思っていました。日商簿記検定2級までは1年生の間に合格すると決め、講座を受講しました。

課外講座は3級、2級と続けて受講し、先生も同じ方で勉強しやすい環境でした。

テキスト以外にも先生自作のプリントもわかりやすく、特に直前答練で出題される問題が実際の試験よりかなり難しく作成されており、難しい問題を何度も解いて力をつけることが出来ました。

日本商工会議所
販売士2級 合格

朝井 榛菜

経営学部3年
(府中東高等学校出身)



私が所属している竹内ゼミでは、2,3年生の間に販売士2級を取得することがゼミでの決まりだったので、販売士講座を受講しました。

私の勉強の仕方は、講座内で配布されたプリントの重要な部分を、声に出して読んで、ひたすら書くだけです。声に出しながら書くと頭に入りやすいのです。

講座を受けたおかげで、範囲をまとめたプリントを貰えたり、講座内で模擬試験をしてくれるので本番での感覚が掴めたりと、販売士講座はとても助けになりました。

平成25年度 高千穂学園同窓会 総会・懇親会 開催

平成25年度同窓会総会・懇親会が平成25年5月18日（土）大学内のセントラルスクエアで開催されました。総会は、午前11時よりセントラルスクエア2階のタカチホールにおいて開催。



同窓会会長挨拶

冒頭、金子同窓会会長は、同窓会運営は健全な財政基盤を維持しているとの挨拶、引き続き、藤井理事長から、学園の平成25年度事業計画の骨子、本年学園創立110周年を迎えること、新校舎建設について平成29年度までの完成を目指す新1号館と新体育館・7号館の建設計画について述べられた。また、本年4月に就任された並木新学長からは今年度卒業生の就職及び入試状況について報告がありました。

●総会について

審議にあたり金子同窓会会長を議長に選出、次の3件の議案を上程、説明は池田同窓会副会長が行い、審議の結果、満場一致で承認されました。



総会の様子

1. 平成24年度事業報告及び収支決算(案)
2. 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)
3. 支部活動に伴う本部支援内規の改定案について

●学友会優秀団体の表彰

総会終了後、同会場におきまして学友会優秀団体の表彰を行い、同窓会会長から「アメリカンフットボール部」「和弓部」「硬式野球部」の主将にそれぞれ奨励金5万円を贈呈しました。



学友会優秀団体表彰

●懇親会 150名が参加

6団体がゼミ・クラブOB会を開催

懇親会は午後12時20分から4階のカフェテリアにて開催。最初に来賓のご挨拶に引き続き、乾杯の音頭を東

海高千穂会会長の山本氏のご発声で始まりました。

今回は、藤井ゼミOB会、山内ゼミOB会、蹴球部OB会、剣道部OB会、ワンダーフォーゲル部OB会が懇親会に合わせて開催したところ、全国各地から多数の参加がありました。

また、山内先生は90歳になられたそうですがご出席いただき、ご壮健なお姿と同時に、ご挨拶では当時の高千穂での思い出をお話しされ懐かしく拝聴いたしました。

懇親会が中盤に差しかった頃に、吟詠部OBの方3名による詩吟の披露があり、会場は一層盛り上がりしました。その後、同窓生紹介にはいり、ホームカミングデーの出席者、各OB会の代表者の挨拶があり、頃合いを見計らって校歌斉唱となり、大内氏のリードで声高らかに3番まで合唱、中締めは福岡県からご参加いただいた関谷氏の一本締めで無事終了いたしました。

参加者は150名と近年に無い、多くの出席者で会場はあふれんばかりとなり、時の経つのも忘れ久しぶりの再会に賑わいを見せた懇親会となりました。



ワンダーフォーゲル部 OB 会



剣道部 OB 会



蹴球部 OB 会



藤井ゼミナール OB 会



山内ゼミナール OB 会

父母の会

父母の会 会長就任挨拶

本年度、会長を務めさせていただきます宮城県仙台市在住の大泉と申します。あの東日本大震災後、今現在も全国の皆様から温かい御支援を頂いております。被災地に住んでいる者としてこの場をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございます。これからも被災された全ての地域の復旧・復興を見守って頂くようお願い致します。

さて、父母の会は高千穂学園創立100周年事業の一環として、高校までのPTAとは違い、大学をバックアップする事や大学と家庭との連絡を密にする事などを大きな柱として設立されました。そして今年度、高千穂学園は創立110周年を迎えます。今では「家族主義的教育共同体」である理事会、教授会、事務局、同窓会、そして父母の会と学生をサポートしていく五位一体の組織の一部として頑張っています。

活動の内容としては、家庭との連絡の強化を図るための父母の会広報誌「黎明」と大学広報誌「クォーター高千穂」

父母の会 会長
大泉 修



の送付、奨学金の支援、大学の施設・設備や学生の様々な活動に対する協力、学生の強力な味方である同窓会との交流も図っています。

そして、全国に16ある支部がその支部独特の特産品を学生に提供する「郷土企画」、9月に全国各地の支部で行われる「父母懇談会」があります。

特に父母懇談会は理事長、学長をはじめとする先生方が直接開催都市に出向き、大学の教育方針や就職への取り組みを説明して頂いたり、保護者の悩みや疑問に対して直接対話をしながら答えて頂く事が出来ます。これは少人数制教育の大学として一人ひとりの学生とその父母に向き合っている証だと思っています。高千穂大学のモットーである「先生に近い」を是非保護者の皆さんも体験してみることをお勧めします。

私は父母の会の活動を通じて先生方、そして全国の保護者の方々と知り合う事が出来ました。今では商学部4年生になった娘に高千穂大学に進学してくれて「ありがとう」という気持ちです。このような気持ちを皆さんで共有できる大学であると思っています。

大学の4年間は親として子供の教育に関わる事の出来る最後の時間です。是非、父母の会を通じて子供達の為になる活動と一緒にいきましょう。その活動を通じて皆さんとお会い出来る日を楽しみにしています。今後共、宜しくお願いします。



キャンパスニュース

4月5～9日

2013 年度新入生オリエンテーションが実施されました

例年通り、入学式の翌日から新入生オリエンテーションを実施しました。1年生クラスとなるゼミI単位をベースとし、授業・履修、学生生活、理事長講話、学生による企画(クラブ活動、海外留学、資格取得、就職活動の説明)、クラブ紹介などが行われました。ゼミI別の教室では教員や先輩学生に履修方法を教えてもらいながら交流を深める新入生たちの姿が見られました。



4月5日

硬式野球部 1 部復帰・リーグ戦開幕

硬式野球部が 2 年ぶりに復帰した東京新大学野球連盟 1 部リーグが 4 月 3 日(水) 大田スタジアムで開幕しました。

第 2 戦では 5-3 で東京国際大学を破り、1 部復帰後初勝利を挙げました。格上相手に 2 点を先制される試合展開でしたが野口、中根の長打など 9 安打を放ち逆転で勝利しました。



4月23日～

総合科目 A「進化するビジネスとコミュニティとアントレプレナーシップ(びじこみこうざ)」

一般の方を対象とした授業公開の一つである総合科目Aは、多くの外部講師の方に講演していただく予定です。

受講料は無料。お問い合わせは、学務部教務課(03-3313-0146)まで。詳しくはwebサイトにて。担当教員 川名 和美 教授

月 日	内 容	講 師 名	会社名・役職
4月23日	小さな企業の勝ち残り戦略 facebook、ツイッターに力を注ぐ前に、まずは圧倒的な強みを作れ!	野竿 達彦 氏	Y プロデュース 代表
4月30日	スモールビジネスソーシャルビジネスの可能性	川名 和美 教授	本学経営学部 教授
5月7日	クチコミュニティが世界を変える!	日野 佳恵子 氏	(株)ハーストリー 代表取締役
5月14日	若者たちの離職をくいとめる!	井上 洋市朗 氏	(株)カイラボ 代表取締役
5月21日	都会の若者が地方のソーシャルビジネスを目指す理由	伊藤 淳司 氏	NPO 法人 ETIC.
5月28日	いすみ鉄道と地域活性化	鳥塚 亮 氏	いすみ鉄道(株) 代表取締役
6月4日	ユニバーサルデザインからビープルデザインへ	須藤 シンジ 氏	NPO 法人ビープルデザイン研究所
6月11日	明日のコミュニケーション	佐藤 尚之 氏	(株)ツナグ 代表取締役
6月18日	マーケティング=売れるしくみ	初倉 宏哉 氏	(株)ネクスグート 代表取締役
6月25日	農業プロデュース論	宮治 勇輔 氏	(株)みやじ豚/NPO 法人農家のこせがれネットワーク 代表
7月2日	コミュニティでカフェを作ろう!	北池 智一郎 氏	(株)タウンキッチン 代表取締役
7月9日	インキュベーションで創業を応援!	福田 稔 氏	新宿区立高田馬場創業支援センター 施設長

*講演者及び講義日に変更の場合もあります。

4月26日～

第 7 回新日本スーパーマーケット協会寄付講座(経営学特別講義)

今回で 7 回目となる新日本スーパーマーケット協会による寄付講座。今年度も様々な食や流通にかかわる企業の方にご登壇いただく予定です。

受講料は無料。お問い合わせは、学務部教務課(03-3313-0146)まで。詳しくはwebサイトにて。担当教員 藤井 耐 教授

開講日	内 容	講 師 名	会社名・役職
4月11日	(学生のみ)オリエンテーション	藤井 耐 教授	
4月18日	(学生のみ)事前指導	藤井 耐 教授	
4月25日	JALUX ～変革への挑戦	横尾 昭信 氏	株式会社 JALUX 代表取締役社長
5月2日	乾物加工食品の流通構造システムについて	星名 桂治 氏	エイチ・アイ・フーズ株式会社 代表取締役社長
5月9日	流通小売業の変化とパナソニックの取り組み(仮)	柴田 康祐 氏	パナソニック ES 産機システム株式会社 代表取締役社長
5月16日	社会人になるにあたって(就職と会社選び)	西野 正雄 氏	株式会社にしの 代表取締役
5月23日	介護予防時代「高齢者の運動習慣化事業」	西城 眞人 氏	公益財団法人 体力づくり指導協会 常務理事
5月30日	農業で起業～ビジネスとして魅力ある農産物の確立～	及川 智正 氏	株式会社農業総合研究所 代表取締役兼 CEO
6月6日	最近の穀物需給環境について	田付 直也 氏	昭和産業株式会社 原料部長
6月13日	日本の食品産業、21世紀的課題	松尾 雅彦 氏	カルビー株式会社 相談役
6月20日	これからの時代に求められる消費財メーカーの営業像	吉田 智彦 氏	シック・ジャパン株式会社 取締役営業本部長
6月27日	小売業はこれからどう変わる。	渡邊 紀征 氏	スギホールディングス株式会社 社外取締役(元西友 社長、元日本チェーンストア協会 会長)

*講演者及び講義日に変更の場合もあります。



海外留学報告レポート

フィッシャー大学(アメリカ合衆国・ボストン)での留学生活

2012年度海外留学生

富沢 正男 (経営学部4年 高島高等学校出身)

私の留学生活は大きく2つに分けることができます。1つは8月から12月までの語学学校の生活です。語学力向上のため、また米国の大学に入学するための学校です。クラスはとても少人数で最大で13人くらいでした。私は質問もしやすく、先生との距離もとても近く感じました。語学学校で最も嬉しかったことは様々な国の友達と親しくなったことです。日本ではなかなか増やせない海外の友達をこの語学学校でたくさん作ることができました。そして彼らの国について、ほかの国の見方なども聞けてTVやWebサイトとは違った意見に驚くこともしばしばありました。

1月からはFisher College(フィッシャー大学)の学生として4つの科目を履修しました。授業についていけるかどうか不安もありましたがクラスメイトの手助けや分からないことは先生にすぐに質問しに行く、またチューターを利用し授業のサポートをしてもらいながらこなしていきました。この大学生活で最も嬉しかったことは自分の成長を日々実感できたことです。プロジェクトを成功させるため信頼関係を作っていくためにどうすればいいのか、自分のやり方は海外で通用するのか試行錯誤し、最後にプロジェクトが成功した時の喜びは今でも鮮明に覚えています。

大学以外の楽しみでは、スポーツ観戦が自分の中で楽しみの一つでありました。私が観に行ったのは、アメリカンフットボール、バスケットボール、野球です。どのスポーツも大変面白かったですがアメリカンフットボールはぜひアメリカで見て欲しいスポーツです。私自身アメリカンフットボールを詳しく知らなかったのですが、それでもとても観戦に熱くなれるスポーツであることは間違いありません。

留学は私にとっては語学力向上だけでなく視野を広げる大きな機会となりました。もし、少しでも留学を考えているのであれば、ぜひ明確な目標をもって一歩前へ踏み出してみてください。きっとあなたの学生生活の貴重な経験になることと思います。



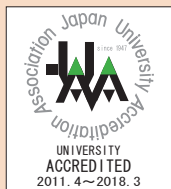
編集後記

この春は高千穂学園・高千穂大学は例年通りの卒業式、入学式、オリエンテーションなどに加え、学園創立110周年を迎えました。このQuarterly高千穂にも式典の様子などを掲載しておりますが、私たちも110年という歴史を改めて実感しているところです。「伝統」に「新しい風」を織り交ぜながら高千穂学園・高千穂大学をより進化させていきたいと思っております。皆様にご協力いただくことも多々あるかと思いますが、どうかよろしくお願いいたします。

さて、今年度より入試広報部広報課が新設されました。それによりQuarterly高千穂は総務課から広報課へと担当がシフトすることになりました。担当部署は変わりましたが、今まで通り学園・大学関係者の皆様に広くご覧いただき、楽しみにしていただくことのできる誌面を目指してまいります。学園・大学と共に広報課もどうかよろしくお願いいたします。

編集委員
入試広報部広報課
浅見 雅郁
坂田 利康
西原 正人





「大学基準に適合」の認定マーク

喫煙に関するルールについて

本学キャンパスのある杉並区は、条例により区内全域で、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てを禁止（一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収）しています。

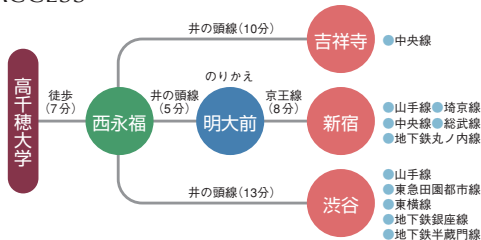
本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きたばこや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなります。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。



ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分
(新宿駅からの場合は、明大前のりかえ)
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分
- 西永福駅北口から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



✉ soumu@takachiho.ac.jp

Quarterly 高千穂 Vol.42

Quarterly高千穂 第42号
発行責任者：浅見 雅郁 発行：高千穂大学
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141
発行日：平成25年6月10日 無断転載・複製不可